

試聴会・訪問記掲載

大阪ハイエンドオーディオショー 2022 報告(2022.11.11)

大阪ハイエンドオーディオショー 2022 は 11 月 11 日から 13 日まで心斎橋ハートンホテルで開催されました。以下は大阪ハイエンドオーディオショー 2022 の報告です。



大阪ハイエンドオーディオショー 2022 パンフレット

1. デモの概要

主催：大阪ハイエンドオーディオショー実行委員会

協賛：各オーディオ・音楽専門誌

協力：関西エリアオーディオ店

開催日：2022年11月11日(金) AM10:30~PM19:00

11月12日(土) AM10:30~PM19:00

11月13日(日) AM10:30~PM17:00

会場：大阪・ハートンホテル心齋橋本館 /別館

出展社 (23社) :

アキュフェーズ株式会社 株式会社アーク・ジョイア
アクシス株式会社 株式会社データゲート アイレックス株式会社
株式会社エレクトリ ファルコン株式会社
有限会社フューレンコーディネート ハーマンインターナショナル株式会社
株式会社 KEF Japan 株式会社リンジヤパン ラックスマン株式会社
株式会社メース メルコシンクレッツ株式会社 株式会社ナスペック
株式会社ノア オルトフォンジヤパン株式会社 株式会社 PDN
サエクマース株式会社 株式会社ステラ 株式会社トライオード
ウインテスト株式会社 株式会社ゼファン
各社のデモの概要は下記サイトに記載があります。

<http://ohas.info/>

2. デモの試聴経過

以上の出展社の中から、自宅で使用中のものの参考にするために興味を引いたデモを主に試聴しました。以下に概要を紹介します。

フューレンコーディネート

PIGA のスピーカーのデモが行われていました。リボンツイーターを持っており、自宅の PIONEER の PT-R7 や FAL のハイルドライバーに通ずるところがあります。



LINN

2 部屋に分かれて試聴が行われていました。

アナログの音は聴けませんでした、LINNのプレイヤーを使っているのですが、最近の進展について説明を受けましたが、電源の交換やカールセルの導入まで済んでいますので、現状からの変更をすることはなさそうです。



オルトフォン

いくつかのオルトフォンのカートリッジを使用していますので、MC Diamondのカートリッジでのアナログ再生に興味がありましたが、スピーカーの音質に馴染めず、MC Diamondの真価を知ることができませんでした。



メース

2 部屋に分かれて試聴が行われていました。

アナログ再生が行われていた部屋では、スピーカーが **Herbeth** ではなく、キノアコースティックでしたので、現在使用中のものと同じメーカーの **GRANZ** のアームと **My Sonic** のカートリッジの再生であるにも拘わらず、その真価をしることができませんでした。

別室の方では CD の再生でしたが、クラシックの再生として納得のいく音質でした。



ノア

現在使用中のエニグマのスーパーツイーター **Sopranino** のブラックタイプの新製品が陳列されていました。中身は変わっていないとのことでした。



アイレックス

非常に凝った設計思想の Reed のアームでアナログの再生を行っていました。セパレーションの良さや定位の良さなど音質上のメリットが感じられましたが、価格や現行プレイヤーへのマウントの困難さなどの問題があります。



トライオード

Western の 300B を搭載した新製品のアンプのデモを行っていました。同じく Western の 300B を使用していますので、興味がありましたが、スピーカーの音に馴染めず、真価をすることができませんでした。



3. まとめ

各社とも 3 年ぶりということ得意的なデモを行っていましたが、音源の選択や、組み合

わせ機器間の相性など、真価を知るまでにいたることがなかったところがある場合は残念です。それらの中でメースの **Herbeth** のスピーカーは、もっともコンサートホールの雰囲気をよく出していました。

以上